

一般社団法人全日本機密文書裁断協会 第七期（2020年度）事業計画

方針

会の知名度向上および裁断サービスの普及に取り組むため、第七期（2020年度）の広報活動は、本会ホームページをより集客効果を高める施策を実施し、更なるコンテンツ強化に取り組みます。会員各位に協会「バナーリンク」設置のご協力をいただき、相互リンクによる権威性を高め、より強固なホームページ改修を目指します。業務品質向上委員会は、会員各位が積み上げてきた「技術」と「品質」の向上及び維持継続ができるよう「機密文書裁断抹消処理士」『ランクアップ制度』の構築に取り組みます。研修勉強会は、昨年度好評であったグループディスカッションの開催を予定しており、会員間の情報交換・情報の共有を図ります。これまで実施してきた表彰制度、ブロック活動助成金制度、カーボンオフセットおよび環境保護活動等の各種事業を継続し、機密文書裁断に関する事業の振興と、社会への貢献を推進いたします。

また、本会は2014年5月に一般社団法人パピルスネットワーク全国会として活動を開始し、2024年に10年の節目を迎えます。文書裁断サービスの全国組織として交流を深め更なる基盤強化を図り、次代へのステップの機会として、第10期総会を本会の10周年記念事業とし、今期（第7期）から10期までの期間、新たに周年事業積立金として150万円の予算計上を行います。

今年度も、本会の目的である、紙材等の資源が有効に再利用される循環型社会の実現及び世界的に取り組みが始まる持続可能な開発目標（SDGs）をより意識して、市場へ機密抹消の必要性和環境配慮の取り組みの必要性を訴求し、情報の抹消を依頼する方々の信頼に応えられる全国組織として、会員・協会の活性化を図ります。

1. 裁断業務の品質対策

（1）定例研修勉強会の実施

機密文書の裁断事業に求められる知識と実務能力の向上の場として、取り巻く環境や地域的な特性等の実践的な内容に関する実務者を対象とした研修勉強会を実施する。また、会員間の活発な意見・情報交換として、昨年度に引き続きグループディスカッションを実施し、会員間の更なるネットワーク構築を図る。

（2）表彰制度

情報漏洩防止と、環境に対する意識向上及び取り組みの推進を目的に、会の発展に寄与もしくは社会貢献活動に積極的に取り組んでいる会員企業の表彰を行う。

（3）業務品質向上委員会の運営

「業務品質向上委員会」では、「管理」「教育」「推進」を柱に事業展開を図り、3年目の節目を迎える本年は、会員各位が積み上げてきた「技術」と「品質」の向上並びに維持・継続できるように、「機密文書裁断抹消処理士」の『ランクアップ制度』の構築を目指す。裁断抹消処理士の技能者を育て、市場に確かな「技術」「品質」を提供することにより、本会の業務品質向上による「機密文書裁断抹消処理士」のブランド化の確立を目指す。

（4）会員企業間の連携強化

会員企業間の連携強化を図るため、今年度もブロック活動助成金制度を継続し、情報交換や交流を深めることで、文書裁断サービスの全国組織として、その連携機能を最大限に活かし、サービスの品質向上と本会更には業界の活性化に結び付ける。

2. 広報宣伝活動

今年度は昨年度に引き続き、本会ホームページの集客対策に取り組む。強化施策として、「会員ブログの継続」・「モバイルサイトの集客強化」・「ランディングサイトの開設」を実施し、コンテンツの強化を図る。会員各位に協会「バナーリンク」設置のご協力をいただき、相互リンクによる権威性を高めることにより、本会ホームページの検索率を向上させ、会員各社へ送客が見込める内容へ改修を継続し、会員各社が営業活動をより活性化することにより、裁断サービスの普及活動並びに会の知名度向上に取り組む。

3. 組織力の強化

組織の充実・強化を図るため、賛助会員制度を活用し、協会事業の目的に賛同し事業に協力・支援をいただける企業に対して全会員が加入推進に努める。

4. 環境保護活動の推進・貢献活動の実施

(1) 文書リサイクルの促進

資源保護の観点から、文書裁断サービスの必要性を訴求し、事業を適正に推進することで、紙資源のリサイクルを促進し、循環形社会の実現に寄与する。

(2) カーボンオフセットの継続実施

機密文書の裁断サービスでは、ご利用の際のエネルギー消費によって、二酸化炭素がやむなく排出されてしまうため、「カーボンオフセット」に取り組み、二酸化炭素をオフセットすることで、より環境に配慮した安心・確実なサービスを提供する。